

【154kV電源尾鷲南勢1L（南勢変-127T）】出力制御ルールに基づく制御の具体的内容

（単位：万kW）

出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-1			6月1日	10時30分～11時00分		断面(A)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(A)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(A)
調整電源	燃料	発電所	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	石炭	対象なし	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	石油	対象なし	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	LNG	対象なし	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-2			6月1日	10時30分～11時00分		断面(A)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(A)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(A)
揚水発電機の 揚水運転	発電所	号機	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし	—	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-3			6月1日	10時30分～11時00分		断面(A)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(A)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(A)
需給バランス改善用の 蓄電設備の充電	蓄電所		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（２）			6月1日	10時30分～11時00分		断面(A)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(A)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(A)
ノンファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源、揚水式発電機を含む）、 電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（３）			6月1日	10時30分～11時00分		断面(A)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(A)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(A)
ファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源（ＦＩＴを除く）、揚水式 発電機を含む）、電力貯蔵シス テム	発電所・蓄電所		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（４）			6月1日	10時30分～11時00分		断面(A)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(A)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(A)
ノンファーム型接続の 非調整電源のうち バイオマス電源※ ※専焼バイオマス電源、地域資 源バイオマス電源（出力制御が 困難なものを除く）	発電所合計		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
	(出力制御が困難なもの) 対象なし		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)	

上記の「抑制後出力」「活用後動力」「活用後電力」は、自然変動電源出力抑制の指令時における予想値。「出力率%」は、定格出力に対する最低出力の比率。

○検証断面：(A)前日断面、(B)1+α時間前、(C)GC断面

○差異理由：(a)連系線運用容量を維持するための電制量確保、(b)燃料貯蔵の関係から抑制量減少、(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加、(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少、(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加、

(f) 自家発設備など工場の生産調整に基づく計画、(g) オーバーホールにて停止、(h) 翌日発電計画に基づく停止、(i) 他の供給区域の受電可能量不足、(j) 系統作業による停止

○理由毎の発電所数：A 発電形態の特質により燃料貯蔵が困難、B 出力制御に応じることにより燃料調達体制に支障を来す、C 出力制御を行うことによって周辺環境に悪影響を及ぼす

【154kV電源尾鷲南勢1L（南勢変-127T）】出力制御ルールに基づく制御の具体的内容

（単位：万kW）

出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-1			6月1日	10時30分～11時00分			断面(B)	6月29日	11時30分～12時00分			断面(B)	6月30日	10時00分～10時30分			断面(B)
調整電源	燃料	発電所	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	
	石炭	対象なし	—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	石油	対象なし	—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	LNG	対象なし	—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-2			6月1日	10時30分～11時00分			断面(B)	6月29日	11時30分～12時00分			断面(B)	6月30日	10時00分～10時30分			断面(B)
揚水発電機の 揚水運転	発電所	号機	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由		揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由		揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし	—	—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-3			6月1日	10時30分～11時00分			断面(B)	6月29日	11時30分～12時00分			断面(B)	6月30日	10時00分～10時30分			断面(B)
需給バランス改善用の 蓄電設備の充電	蓄電所		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし		—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（２）			6月1日	10時30分～11時00分			断面(B)	6月29日	11時30分～12時00分			断面(B)	6月30日	10時00分～10時30分			断面(B)
ノンファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源、揚水式発電機を含む）、 電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし		—	—	—			—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（３）			6月1日	10時30分～11時00分			断面(B)	6月29日	11時30分～12時00分			断面(B)	6月30日	10時00分～10時30分			断面(B)
ファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源（ＦＩＴを除く）、揚水式 発電機を含む）、電力貯蔵シス テム	発電所・蓄電所		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし		—	—	—			—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（４）			6月1日	10時30分～11時00分			断面(B)	6月29日	11時30分～12時00分			断面(B)	6月30日	10時00分～10時30分			断面(B)
ノンファーム型接続の 非調整電源のうち バイオマス電源※ ※専焼バイオマス電源、地域資 源バイオマス電源（出力制御が 困難なものを除く）	発電所合計		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	
	対象なし		—	—	—			—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—		0.0	0.0	0.0	—	
	（出力制御が困難なもの） 対象なし		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)				—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)				—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)

上記の「抑制後出力」「活用後動力」「活用後電力」は、自然変動電源出力抑制の指令時における予想値。「出力率%」は、定格出力に対する最低出力の比率。

○検証断面：(A)前日断面、(B)1+α時間前、(C)GC断面

○差異理由：(a)連系線運用容量を維持するための電制量確保、(b)燃料貯蔵の関係から抑制量減少、(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加、(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少、(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加、
(f) 自家発電設備など工場の生産調整に基づく計画、(g) オーバーホールにて停止、(h) 翌日発電計画に基づく停止、(i) 他の供給区域の受電可能量不足、(j) 系統作業による停止

○理由毎の発電所数：A 発電形態の特質により燃料貯蔵が困難、B 出力制御に応じることにより燃料調達体制に支障を来す、C 出力制御を行うことによって周辺環境に悪影響を及ぼす

【154kV電源尾鷲南勢1L（南勢変-127T）】出力制御ルールに基づく制御の具体的内容

（単位：万kW）

出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-1			6月1日	10時30分～11時00分		断面(C)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(C)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(C)
調整電源	燃料	発電所	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	石炭	対象なし	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	石油	対象なし	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	LNG	対象なし	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-2			6月1日	10時30分～11時00分		断面(C)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(C)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(C)
揚水発電機の 揚水運転	発電所	号機	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし	—	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-3			6月1日	10時30分～11時00分		断面(C)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(C)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(C)
需給バランス改善用の 蓄電設備の充電	蓄電所		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（２）			6月1日	10時30分～11時00分		断面(C)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(C)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(C)
ノンファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源、揚水式発電機を含む）、 電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（３）			6月1日	10時30分～11時00分		断面(C)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(C)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(C)
ファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源（ＦＩＴを除く）、揚水式 発電機を含む）、電力貯蔵シス テム	発電所・蓄電所		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（４）			6月1日	10時30分～11時00分		断面(C)	6月29日	11時30分～12時00分		断面(C)	6月30日	10時00分～10時30分		断面(C)
ノンファーム型接続の 非調整電源のうち バイオマス電源※ ※専焼バイオマス電源、地域資 源バイオマス電源（出力制御が 困難なものを除く）	発電所合計		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
	（出力制御が困難なもの） 対象なし		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)	

上記の「抑制後出力」「活用後動力」「活用後電力」は、自然変動電源出力抑制の指令時における予想値。「出力率%」は、定格出力に対する最低出力の比率。

○検証断面：(A)前日断面、(B)1+α時間前、(C)GC断面

○差異理由：(a)連系線運用容量を維持するための電制量確保、(b)燃料貯蔵の関係から抑制量減少、(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加、(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少、(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加、
(f) 自家発電設備など工場の生産調整に基づく計画、(g) オーバーホールにて停止、(h) 翌日発電計画に基づく停止、(i) 他の供給区域の受電可能量不足、(j) 系統作業による停止

○理由毎の発電所数：A 発電形態の特質により燃料貯蔵が困難、B 出力制御に応じることにより燃料調達体制に支障を来す、C 出力制御を行うことによって周辺環境に悪影響を及ぼす

【77kV斉宮分岐1L（26T-斉宮変）】出力制御ルールに基づく制御の具体的内容

（単位：万kW）

出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（1）-1			6月1日	12時00分～12時30分		断面(A)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(A)
調整電源	燃料	発電所	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	石炭	対象なし	—	—	—		—	—	—	
	石油	対象なし	—	—	—		—	—	—	
	LNG	対象なし	—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（1）-2			6月1日	12時00分～12時30分		断面(A)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(A)
揚水発電機の 揚水運転	発電所	号機	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし	—	—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（1）-3			6月1日	12時00分～12時30分		断面(A)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(A)
需給バランス改善用の 蓄電設備の充電	蓄電所		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（2）			6月1日	12時00分～12時30分		断面(A)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(A)
ノンファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源、揚水式発電機を含む）、 電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（3）			6月1日	12時00分～12時30分		断面(A)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(A)
ファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源（FITを除く）、揚水式 発電機を含む）、電力貯蔵シス テム	発電所・蓄電所		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（4）			6月1日	12時00分～12時30分		断面(A)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(A)
ノンファーム型接続の 非調整電源のうち バイオマス電源※ ※専焼バイオマス電源、地域資 源バイオマス電源（出力制御が 困難なものを除く）	発電所合計		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
	(出力制御が困難なもの) 対象なし		—	—	理由毎の発電所数 A(一)、B(一)、C(一)		—	—	理由毎の発電所数 A(一)、B(一)、C(一)	

上記の「抑制後出力」「活用後動力」「活用後電力」は、自然変動電源出力抑制の指令時における予想値。「出力率％」は、定格出力に対する最低出力の比率。

○検証断面：(A)前日断面、(B)1+α時間前、(C)GC断面

○差異理由：(a)連系線運用容量を維持するための電制量確保、(b)燃料貯蔵の関係から抑制量減少、(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加、(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少、(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加、
(f) 自家発設備など工場の生産調整に基づく計画、(g) オーバーホールにて停止、(h) 翌日発電計画に基づく停止、(i) 他の供給区域の受電可能量不足、(j) 系統作業による停止

○理由毎の発電所数：A 発電形態の特質により燃料貯蔵が困難、B 出力制御に応じることにより燃料調達体制に支障を来す、C 出力制御を行うことによって周辺環境に悪影響を及ぼす

【77kV斉宮分岐1L（26T-斉宮変）】出力制御ルールに基づく制御の具体的内容

（単位：万kW）

出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（1）-1			6月1日	12時00分～12時30分		断面(B)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(B)
調整電源	燃料	発電所	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	石炭	対象なし	—	—	—		—	—	—	
	石油	対象なし	—	—	—		—	—	—	
	LNG	対象なし	—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（1）-2			6月1日	12時00分～12時30分		断面(B)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(B)
揚水発電機の 揚水運転	発電所	号機	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし	—	—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（1）-3			6月1日	12時00分～12時30分		断面(B)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(B)
需給バランス改善用の 蓄電設備の充電	蓄電所		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由	充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（2）			6月1日	12時00分～12時30分		断面(B)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(B)
ノンファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源、揚水式発電機を含む）、 電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（3）			6月1日	12時00分～12時30分		断面(B)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(B)
ファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源（FITを除く）、揚水式 発電機を含む）、電力貯蔵シス テム	発電所・蓄電所		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（4）			6月1日	12時00分～12時30分		断面(B)	6月21日	11時30分～12時00分		断面(B)
ノンファーム型接続の 非調整電源のうち バイオマス電源※ ※専焼バイオマス電源、地域資 源バイオマス電源（出力制御が 困難なものを除く）	発電所合計		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)	差異理由
	対象なし		—	—	—		—	—	—	
			—	—	—		—	—	—	
	合計		0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
	(出力制御が困難なもの) 対象なし		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)		—	—	理由毎の発電所数 A(－)、B(－)、C(－)	

上記の「抑制後出力」「活用後動力」「活用後電力」は、自然変動電源出力抑制の指令時における予想値。「出力率%」は、定格出力に対する最低出力の比率。

○検証断面：(A)前日断面、(B)1+α時間前、(C)GC断面

○差異理由：(a)連系線運用容量を維持するための電制量確保、(b)燃料貯蔵の関係から抑制量減少、(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加、(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少、(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加、
(f) 自家発電設備など工場の生産調整に基づく計画、(g) オーバーホールにて停止、(h) 翌日発電計画に基づく停止、(i) 他の供給区域の受電可能量不足、(j) 系統作業による停止

○理由毎の発電所数：A 発電形態の特質により燃料貯蔵が困難、B 出力制御に応じることにより燃料調達体制に支障を来す、C 出力制御を行うことによって周辺環境に悪影響を及ぼす

【77kV斉宮分岐1L（26T-斉宮変）】出力制御ルールに基づく制御の具体的内容

（単位：万kW）

出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-1			6月1日		12時00分～12時30分		断面(C)	6月21日		11時30分～12時00分		断面(C)
調整電源	燃料	発電所	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)		差異理由	最低出力①	抑制後出力②	差異(②－①)		差異理由
	石炭	対象なし	—	—	—			—	—	—		
	石油	対象なし	—	—	—			—	—	—		
	LNG	対象なし	—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0		—	0.0	0.0	0.0		—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-2			6月1日		12時00分～12時30分		断面(C)	6月21日		11時30分～12時00分		断面(C)
揚水発電機の 揚水運転	発電所	号機	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)		差異理由	揚水動力①	活用後動力②	差異(②－①)		差異理由
	対象なし	—	—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0		—	0.0	0.0	0.0		—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（１）-3			6月1日		12時00分～12時30分		断面(C)	6月21日		11時30分～12時00分		断面(C)
需給バランス改善用の 蓄電設備の充電	蓄電所		充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)		差異理由	充電最大電力①	活用後電力②	差異(②－①)		差異理由
	対象なし		—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0		—	0.0	0.0	0.0		—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（２）			6月1日		12時00分～12時30分		断面(C)	6月21日		11時30分～12時00分		断面(C)
ノンファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源、揚水式発電機を含む）、 電力貯蔵システム	発電所・蓄電所		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)		差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)		差異理由
	対象なし		—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0		—	0.0	0.0	0.0		—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（３）			6月1日		12時00分～12時30分		断面(C)	6月21日		11時30分～12時00分		断面(C)
ファーム型接続の 非調整電源※ ※火力電源等（混焼バイオマス 電源（ＦＩＴを除く）、揚水式 発電機を含む）、電力貯蔵シス テム	発電所・蓄電所		最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)		差異理由	最低出力① [出力率%]	抑制後出力②	差異(②－①)		差異理由
	対象なし		—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0		—	0.0	0.0	0.0		—
出力制御ルールに基づく制御の具体的内容（４）			6月1日		12時00分～12時30分		断面(C)	6月21日		11時30分～12時00分		断面(C)
ノンファーム型接続の 非調整電源のうち バイオマス電源※ ※専焼バイオマス電源、地域資 源バイオマス電源（出力制御が 困難なものを除く）	発電所合計		停止①	抑制後出力②	差異(②－①)		差異理由	停止①	抑制後出力②	差異(②－①)		差異理由
	対象なし		—	—	—			—	—	—		
			—	—	—			—	—	—		
	合計		0.0	0.0	0.0		—	0.0	0.0	0.0		—
	（出力制御が困難なもの） 対象なし		—	—	理由毎の発電所数 A(一)、B(一)、C(一)			—	—	理由毎の発電所数 A(一)、B(一)、C(一)		

上記の「抑制後出力」「活用後動力」「活用後電力」は、自然変動電源出力抑制の指令時における予想値。「出力率%」は、定格出力に対する最低出力の比率。

○検証断面：(A)前日断面、(B)1+α時間前、(C)GC断面

○差異理由：(a)連系線運用容量を維持するための電制量確保、(b)燃料貯蔵の関係から抑制量減少、(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加、(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少、(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加、
(f) 自家発電設備など工場の生産調整に基づく計画、(g) オーバーホールにて停止、(h) 翌日発電計画に基づく停止、(i) 他の供給区域の受電可能量不足、(j) 系統作業による停止

○理由毎の発電所数：A 発電形態の特質により燃料貯蔵が困難、B 出力制御に応じることにより燃料調達体制に支障を来す、C 出力制御を行うことによって周辺環境に悪影響を及ぼす

【154kV電源尾鷲南勢1L（南勢変-127T）】自然変動電源の出力抑制を行う必要性

（単位：万kW）

一般送配電事業者 HP公表情報		自然変動電源の出力抑制実施日				2026年6月1日(月)			2026年6月29日(月)			2026年6月30日(火)				
		自然変動電源の出力抑制期間				9時00分～14時00分			9時00分～16時00分			10時00分～16時00分				
		自然変動電源の最大抑制量				0.44			0.31			0.26				
		自然変動電源の最大出力抑制量発生時刻				10時30分～11時00分			11時30分～12時00分			10時00分～10時30分				
						(A)前日断面	(B)1+ α 時間前	(C)GC断面	(A)前日断面	(B)1+ α 時間前	(C)GC断面	(A)前日断面	(B)1+ α 時間前	(C)GC断面		
予想潮流※ ※自然変動電源の最大出力抑制量発生時刻における、調整電源ほかの出力抑制後、かつ自然変動電源の出力制御前の予想潮流であり、想定潮流誤差を含む。	混雑系統以下の電源等※ ※ファーム型接続については特高連系分。高圧以下連系分は一般需要に含む。	調整電源		ノンファーム型接続 (A-1)	—	—	—	混雑なし	—	—	混雑なし	—	—			
				ファーム型接続 (A-2)	—	—	—		—	—		—	—			
		非調整電源	火力 (混焼バイオマス含む)	ノンファーム型接続 (B-1)	—	—	—		—	—		—	—	—		
				ファーム型接続 (B-2)	—	—	—		—	—		—	—	—		
			蓄電設備（放電）	ノンファーム型接続 (C-1)	—	—	—		—	—		—	—	—	—	
				ファーム型接続 (C-2)	—	—	—		—	—		—	—	—	—	
			専焼バイオマス	ノンファーム型接続 (D-1)	—	—	—		—	—		—	—	—	—	
				ファーム型接続 (D-2)	—	—	—		—	—		—	—	—	—	
			地域資源バイオマス (出力制御困難なもの以外)	ノンファーム型接続 (E-1)	—	—	—		—	—		—	—	—	—	
				ファーム型接続 (E-2)	—	—	—		—	—		—	—	—	—	
			地域資源バイオマス (出力制御困難なもの)	ノンファーム型接続 (E-3)	—	—	—		—	—		—	—	—	—	
				ファーム型接続 (E-4)	—	—	—		—	—		—	—	—	—	
			太陽光※ ¹	ノンファーム型接続 (F-1)	0.38	0.44	0.44		0.27	0.31		0.26	0.26			
				ファーム型接続 (F-2)	—	—	—		—	—		—	—	—		
			風力※ ¹	ノンファーム型接続 (G-1)	—	—	—		—	—		—	—	—		
				ファーム型接続 (G-2)	—	—	—		—	—		—	—	—		
			原子力	ノンファーム型接続 (H-1)	—	—	—		—	—		—	—	—		
				ファーム型接続 (H-2)	—	—	—		—	—		—	—	—		
			一般水力	ノンファーム型接続 (I-1)	—	—	—		—	—		—	—	—		
				ファーム型接続 (I-2)	11.61	11.59	11.61		12.43	12.43		12.33	12.33			
			地熱	ノンファーム型接続 (J-1)	—	—	—		—	—		—	—	—		
				ファーム型接続 (J-2)	—	—	—		—	—		—	—	—		
	混雑系統以下の需要等	一般需要※ ※ファーム型接続電源（高圧以下連系）を含む。 (K)				▲ 3.26	▲ 3.20		▲ 3.20	▲ 2.64		▲ 2.60	▲ 2.69	▲ 2.69		
		揚水式発電機の揚水運転 (L)				—	—		—	—		—	—	—		
		需給バランス改善用の蓄電設備の充電 (M)				—	—		—	—		—	—	—		
	混雑系統以下の電源等 計①（A～Jの合計）					11.99	12.03		12.05	12.70		12.74	12.59	12.59		
	混雑系統以下の需要等 計②（K～Mの合計）					▲ 3.26	▲ 3.20		▲ 3.20	▲ 2.64		▲ 2.60	▲ 2.69	▲ 2.69		
	想定誤差量③					0.77	0.77		0.77	0.77		0.77	0.77	0.77		
	予想潮流④（＝①－②＋③）					16.02	16.00		16.02	16.11		16.11	16.05	16.05		
						(A)前日断面	(B)1+ α 時間前		(C)GC断面	(B)1+ α 時間前		(C)GC断面	(B)1+ α 時間前	(C)GC断面		
必要性	運用容量⑤				15.40	15.40	15.40		15.40	15.40		15.40	15.40			
	判定				○	○	○		○	○		○	○			
	誤差量を織り込んだ抑制必要量※ ² （④－⑤）				0.62	0.60	0.62		0.71	0.71		0.65	0.65			
	自然変動電源の抑制必要量				0.38	0.44	0.44		0.27	0.31		0.26	0.26			

※1 前断面で算出した抑制必要量を考慮しない当該断面時点のTSO想定値

※2 実需給断面においても自然変動電源を含むノンファーム型接続電源の抑制のみで運用容量以下にならない場合は、必要に応じてファーム型接続電源を抑制する

【77kV斉宮分岐1L（26T-斉宮変）】自然変動電源の出力抑制を行う必要性

（単位：万kW）

一般送配電事業者 HP公表情報		自然変動電源の出力抑制実施日			2026年6月1日(月)			2026年6月21日(日)			
		自然変動電源の出力抑制期間			12時00分～13時00分			11時00分～14時00分			
		自然変動電源の最大抑制量			0.01			0.20			
		自然変動電源の最大出力抑制量発生時刻			12時00分～12時30分			11時30分～12時00分			
					(A)前日断面	(B)1+ α 時間前	(C)GC断面	(A)前日断面	(B)1+ α 時間前	(C)GC断面	
予想潮流※ ※自然変動電源の最大出力抑制量発生時刻における、調整電源ほかの出力抑制後、かつ自然変動電源の出力制御前の予想潮流であり、想定潮流誤差を含む。	混雑系統以下の電源等※ ※ファーム型接続については特高連系分。高圧以下連系分は一般需要に含む。	調整電源		ノンファーム型接続 (A-1)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (A-2)	—	—	—	—	—	—	
		非調整電源	火力 (混焼バイオマス含む)	ノンファーム型接続 (B-1)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (B-2)	—	—	—	—	—	—	
			蓄電設備（放電）	ノンファーム型接続 (C-1)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (C-2)	—	—	—	—	—	—	
			専焼バイオマス	ノンファーム型接続 (D-1)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (D-2)	—	—	—	—	—	—	
			地域資源バイオマス (出力制御困難なもの以外)	ノンファーム型接続 (E-1)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (E-2)	—	—	—	—	—	—	
			地域資源バイオマス (出力制御困難なもの)	ノンファーム型接続 (E-3)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (E-4)	—	—	—	—	—	—	
			太陽光※ ¹	ノンファーム型接続 (F-1)	0.19	0.22	0.21	0.20	0.21	0.20	
				ファーム型接続 (F-2)	—	—	—	—	—	—	
			風力※ ¹	ノンファーム型接続 (G-1)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (G-2)	—	—	—	—	—	—	
			原子力	ノンファーム型接続 (H-1)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (H-2)	—	—	—	—	—	—	
			一般水力	ノンファーム型接続 (I-1)	—	—	—	—	—	—	
				ファーム型接続 (I-2)	—	—	—	—	—	—	
		地熱	ノンファーム型接続 (J-1)	—	—	—	—	—	—		
			ファーム型接続 (J-2)	—	—	—	—	—	—		
	混雑系統以下の需要等	一般需要※ ※ファーム型接続電源（高圧以下連系）を含む。 (K)			▲ 3.43	▲ 3.40	▲ 3.41	▲ 3.67	▲ 3.66	▲ 3.67	
		揚水式発電機の揚水運転 (L)			—	—	—	—	—	—	
		需給バランス改善用の蓄電設備の充電 (M)			—	—	—	—	—	—	
	混雑系統以下の電源等 計①（A～Jの合計）					0.19	0.22	0.21	0.20	0.21	0.20
	混雑系統以下の需要等 計②（K～Mの合計）					▲ 3.43	▲ 3.40	▲ 3.41	▲ 3.67	▲ 3.66	▲ 3.67
想定誤差量③					0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	
予想潮流④（＝①－②＋③）					3.81	3.81	3.81	4.06	4.06	4.06	
					(A)前日断面	(B)1+ α 時間前	(C)GC断面	(A)前日断面	(B)1+ α 時間前	(C)GC断面	
必要性	運用容量⑤				3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	
	判定				○	○	○	○	○	○	
	誤差量を織り込んだ抑制必要量※ ² （④－⑤）				0.01	0.01	0.01	0.26	0.26	0.26	
	自然変動電源の抑制必要量				0.01	0.01	0.01	0.20	0.21	0.20	

※1 前断面で算出した抑制必要量を考慮しない当該断面時点のTSO想定値

※2 実需給断面においても自然変動電源を含むノンファーム型接続電源の抑制のみで運用容量以下にならない場合は、必要に応じてファーム型接続電源を抑制する